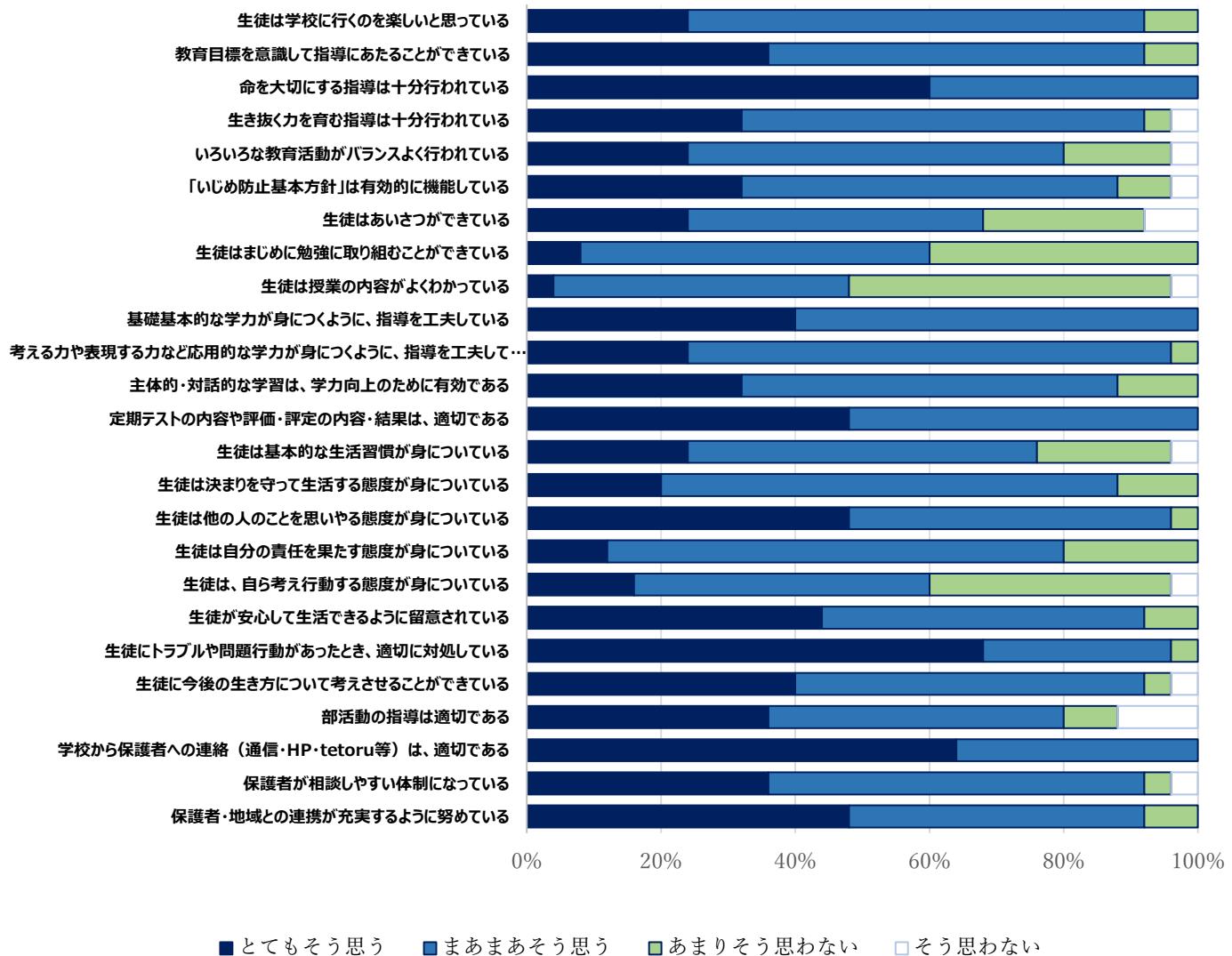


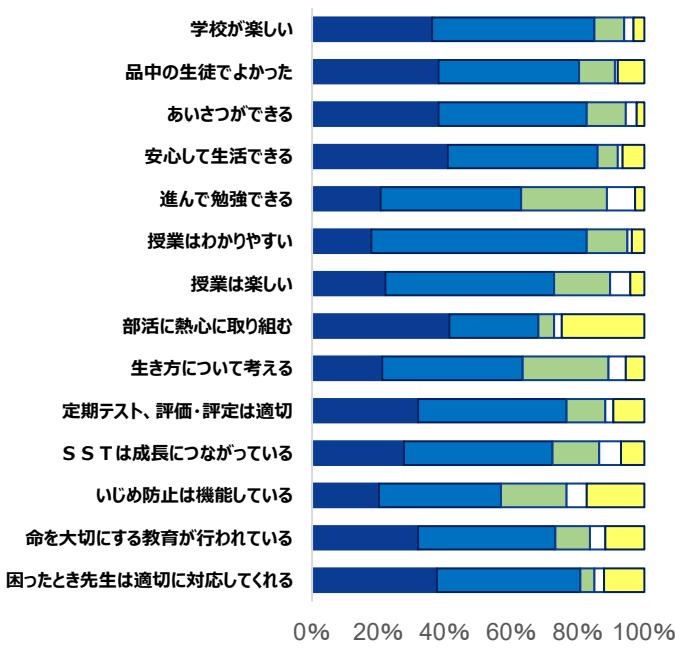
令和7年度 品野中学校「学校評価」のまとめ

瀬戸市立品野中学校

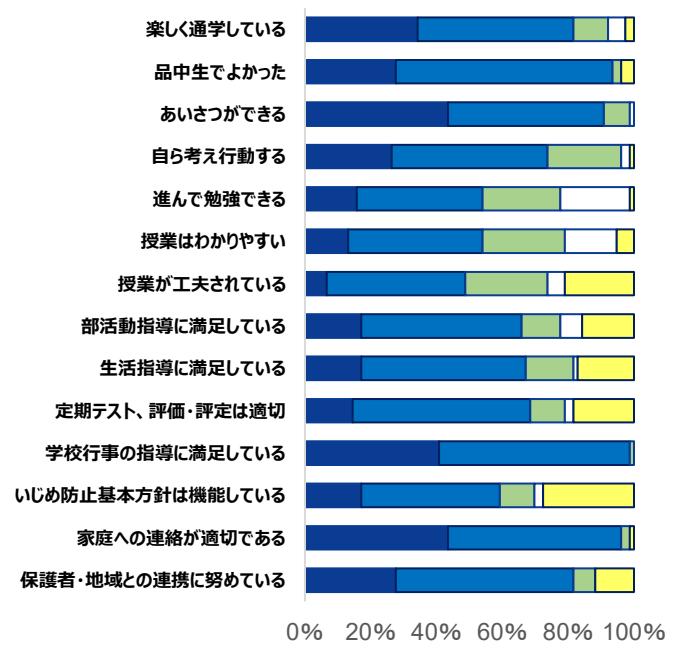
学校評価アンケート（教職員）

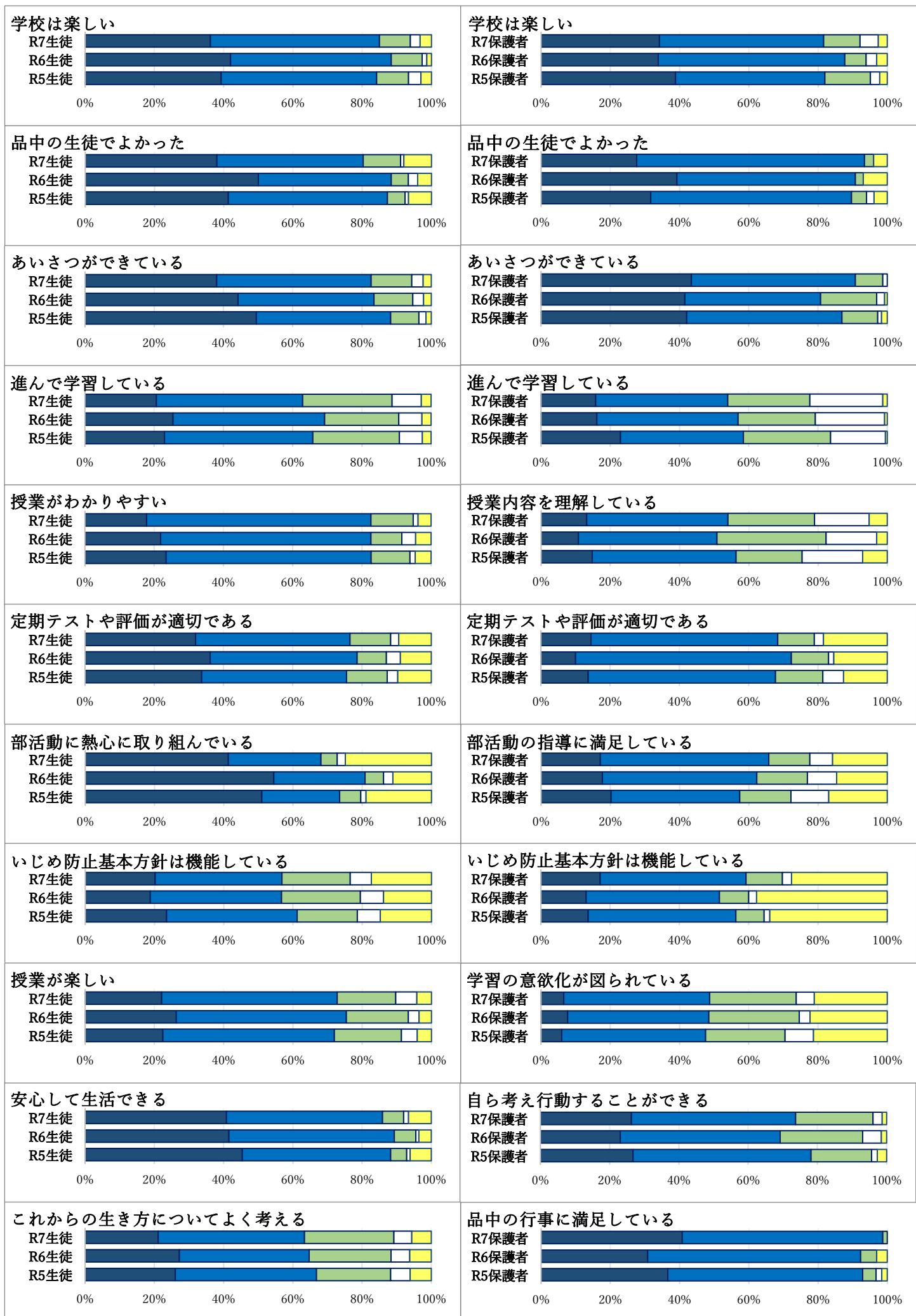


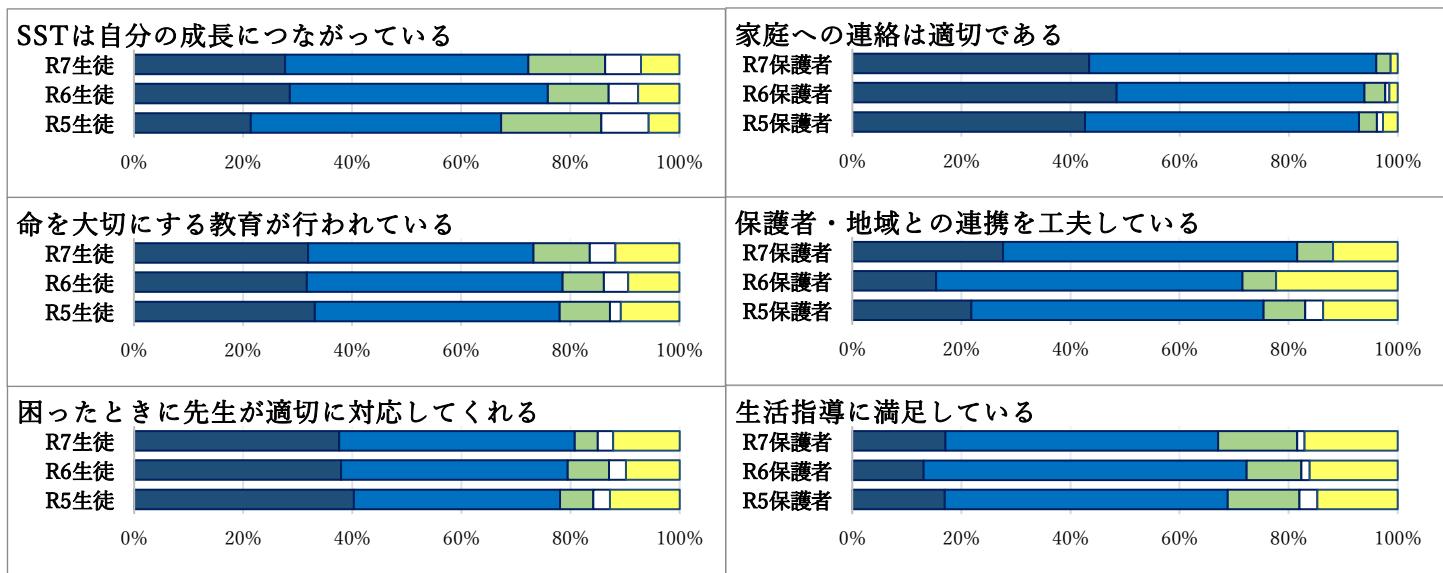
学校評価アンケート（生徒）



学校評価アンケート（保護者）







令和7年度「学校評価」のまとめ

◇全体

全体的な傾向として、昨年度と比べ大きく変化した項目が少ない結果となりました。ただ、「学校が楽しい」の質問が生徒・保護者ともに、また「品中の生徒でよかった」という質問に対する生徒の「そう思う・まあまあそう思う」の回答が昨年より小幅とはいえ低下しており、学校が一人一人の居場所として機能できるよう引き続き取り組んでいく必要があると感じます。保護者の回答のうち、「品中の行事に満足している」「家庭への連絡は適切である」「保護者・地域との連携を工夫している」の質問でプラスの回答が増加しており、コミュニティスクールなどを通じ地域や保護者とのつながりを深められた結果だと考えられます。

◇部活動について

令和9年度よりの部活動地域移行に向けて、活動時間が年々減少していることもあり、「部活動に熱心に取り組んでいる」の項目で生徒の回答が低下しています。反面、同じ質問での保護者の回答は向上しており、部活動の新しい取り組み方を理解いただけていると考えられます。今後、地域移行をスムーズに行うことで、子供たちの活躍の場を現状の部活動よりも広げていくことができるよう進めていきたいです。

◇学習の指導について

「進んで学習している」「授業内容を理解している」「学習の意欲化が図られている」の質問に対しての保護者の「そう思う・まあまあそう思う」の回答が50～60%と他の質問に比べても低いことから、保護者がもつ学校での学習への期待に応えきれていない現状がうかがえます。ただ、同じ質問における生徒の回答はそれほど低くないことから、知識偏重型学習から協働型課題解決学習への移行が進む中で家庭での学習の取り組み方や入試などへの対応について保護者が不安を感じていると考えられます。保護者の不安解消に向けて、一層の授業の手立てを研究し、さらなる授業技術の向上に努めていきたいです。